

目的 次世代を担う学生たちに、測量の(最新)技術に触れてもらうことで知識・技術・技能を習得してもらうほか、測量業界で実際に働く人たちの声を聞いて興味・関心をもってもらうことで、業界の人材不足を改善することを目的としている。

内容 測量の概要と最新技術 三次元データの技術習得と活用事例の紹介

1. 座学「測量の概要、実習の説明」 測量の概要（測量とはなにか。どんな仕事か。）を教室で、プロジェクターを使用して説明します。また、次の授業である実習内容を説明します。



2. 実習「トータルステーションによる測量と UAV による測量」 トータルステーションを据えて、距離や角度の測り方を学び、測量士補試験でも出題される簡単な計算も行ってもらいます。※詳細は別紙 次に、指導員による UAV の測量方法の説明と実際に飛行させ三次元データを取得している状況を見学してもらいます。取得した三次元データから野球場の大きさや物の位置関係を確認することで、再現性の高い測量を学んでもらいます。最後に、手動飛行で生徒に UAV の操縦体験を行ってもらいます。
(雨天の場合) UAVが飛行させられないため、教室でトータルステーションの実習と地上型レーザスキャナの実習を行います。



3. 座学「測量事例の紹介、社会人1年生(卒業生)の話」 最新技術である三次元点群測量について、教室でプロジェクターを使用して事例を紹介しながら説明します。また、卒業生の社会人1年生に、会社でやっていること、仕事のやりがいや目標を話してもらい、生徒の質問にも答えてもらう予定です。 ※社会人1年生：東亜サーベイ(株) 真岡工業卒業生を予定

ブログリンク <http://blog.livedoor.jp/nasuhoshino/archives/6179391.html>

Youtube <https://youtu.be/DnOvhNUEsOc?si=3RSY0zw5MRQm54UZ>